

住まいのメンテナンス①

住宅に求められる基本的な条件は、「構造の耐久性」と「快適な室内環境」です。このどちらか一方が損なわれると、住宅としての役割が低下します。

一般的に木造住宅の耐久年数は30~40年とされていますが、適度な乾燥状態を保つなど、良好な環境下では100年以上構造を維持することができます。耐久年数が短くなる要因の多くは木材に与える水分で、主に次のものがあげられます。

- ①建物の外部からの侵入水(屋根、外壁からの雨漏り)
- ②建物の内部で発生した水分(内部結露)

住宅の耐久年数は、適切な維持管理で長くすることができます。そのためには、室内の水蒸気の発生を少なくし、計画的に換気をし、さらに建物全体の温度分布を均一にするなど、木造の大敵である内部結露を防ぐことが重要です。また、土台、床組の腐食を防止するための床下点検や換気、外壁の割れ、屋根板金のさび、傷などの補修、開口部の隙間などの定期的点検、スノーレーンのごみ除去など必要に応じたメンテナンスをすることが重要です。

※内部結露とは

空気中の水蒸気は、水蒸気圧の高い方から低い方へ、つまり水分の多い方から少ない方へと移動拡散します。冬期間は、屋外の空気中の水蒸気量はゼロに近い状態になっています。そのため、室内の水蒸気は空気と共に、壁の中、小屋裏あるいは床下を通過して屋外へ移動拡散していきます。このときに空気中の水蒸気が冷やされると、そこで結露や結氷が発生します。この現象を「内部結露」といい、構造体が劣化する原因となります。この現象は人の目に触れることなく毎年繰り返されます。特に、結氷は凍融解を繰り返すため、さらに劣化が激しくなります。



■問い合わせ なよろっぽい家づくりの会事務局
(NPO法人なよろ観光まちづくり協会内)
☎01654⑨6711



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

とき

3/16▶26
(金) (月)

北海道の名付け親

松浦武四郎展

北海道探検の足跡を訪ねて


ところ

駅前交流プラザ
「よろーな」



北海道命名150年、松浦武四郎生誕200年を記念して、武四郎の生涯や蝦夷地踏査の内容、武四郎とアイヌ民族との関わりなどについて、パネル展示します。ぜひお越しください。

問い合わせ 営業戦略課 ☎01654③2111(内線3344)
主催:テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会



天塩川だより

定住自立圏の構成市町村のイベントを紹介します

士別市 あさひ
ベタ雪まつりリターンズ2018

とき 3月11日(日)
ところ あさひスキー場
問い合わせ 朝日商工会
☎0165-28-2617

士別市 温根別冬まつり

とき 3月11日(日)
ところ 温根別農村広場
問い合わせ 温根別出張所
☎0165-27-2324

和寒町 塩狩峠記念館オープン

とき 4月1日(日)
ところ 塩狩峠記念館
内容 作家三浦綾子さんの代表作「塩狩峠」が執筆された部屋などを再現。貴重な資料なども展示します。

問い合わせ 和寒町産業振興課
☎0165-32-2423

